

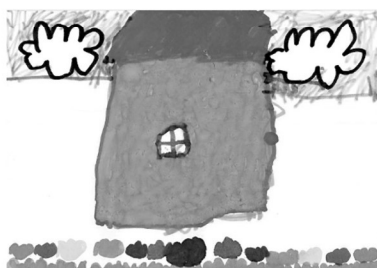
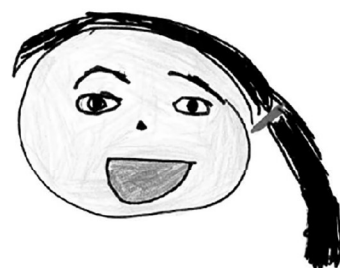
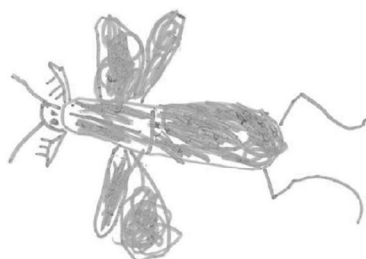
# あさお福祉計画

## 第7期麻生区地域福祉計画

計画期間 令和6(2024)年度～令和8(2026)年度

### みんなで支え合う 福祉のまち麻生

～ 麻生区らしい地域包括ケアシステム構築をめざして ～



令和6(2024)年3月  
川崎市 麻生区

市民一人ひとりが共に支え合い  
安心して暮らせる ふるさとづくり

～川崎らしい都市型の

地域包括ケアシステムの構築をめざして～



本市は、全国平均に比べると、比較的市民の平均年齢が若い都市ですが、「団塊の世代」が75歳以上の高齢者（後期高齢者）となる令和7（2025）年には、高齢化率が21.3%に達し、本格的な超高齢社会が到来します。

同時に少子化も進行する中で、地域における生活課題が多様化・複雑化しており、子どもから高齢者まですべての市民の皆さまが、住み慣れた地域や自らが望む場で安心して暮らし続けることができる地域をめざして、「地域包括ケアシステムの構築」に向けて取り組んでおります。

今回、策定いたしました「第7期川崎市地域福祉計画」は、「市民一人ひとりが共に支え合い安心して暮らせる ふるさとづくり」を基本理念に掲げ、地域包括ケアシステムの構築に向けて関連する行政計画と連携を図りながら、住民の視点による地域福祉を推進することをめざしております。また、各区におきましても、地域福祉計画を策定しており、地域の実情に応じた施策の展開を図ってまいりたいと考えています。

本計画の推進には、行政をはじめ、町内会・自治会などの地縁組織、ボランティア団体、住民、民間企業など、地域で活動されている皆様の御理解・御協力が必要と考えております。また、今後、令和7（2025）年以降を見据え、デジタル化などの社会の変化も視野に入れ、予防的な視点を重視した取組を推進してまいりたいと考えております。

引き続き、様々な工夫をしながら地域における「顔の見える関係づくり」を進め、コミュニティ分野や住宅・都市計画分野、教育分野など幅広い関連施策分野が連携した地域包括ケアシステムの構築につなげてまいりたいと考えておりますので、市民の皆さまのより一層の御理解・御協力をいただきますようお願い申し上げます。

最後になりますが、今回の川崎市・各区地域福祉計画の策定にあたり、多くの皆様から貴重な御意見をいただきましたことに、厚く御礼申し上げます。

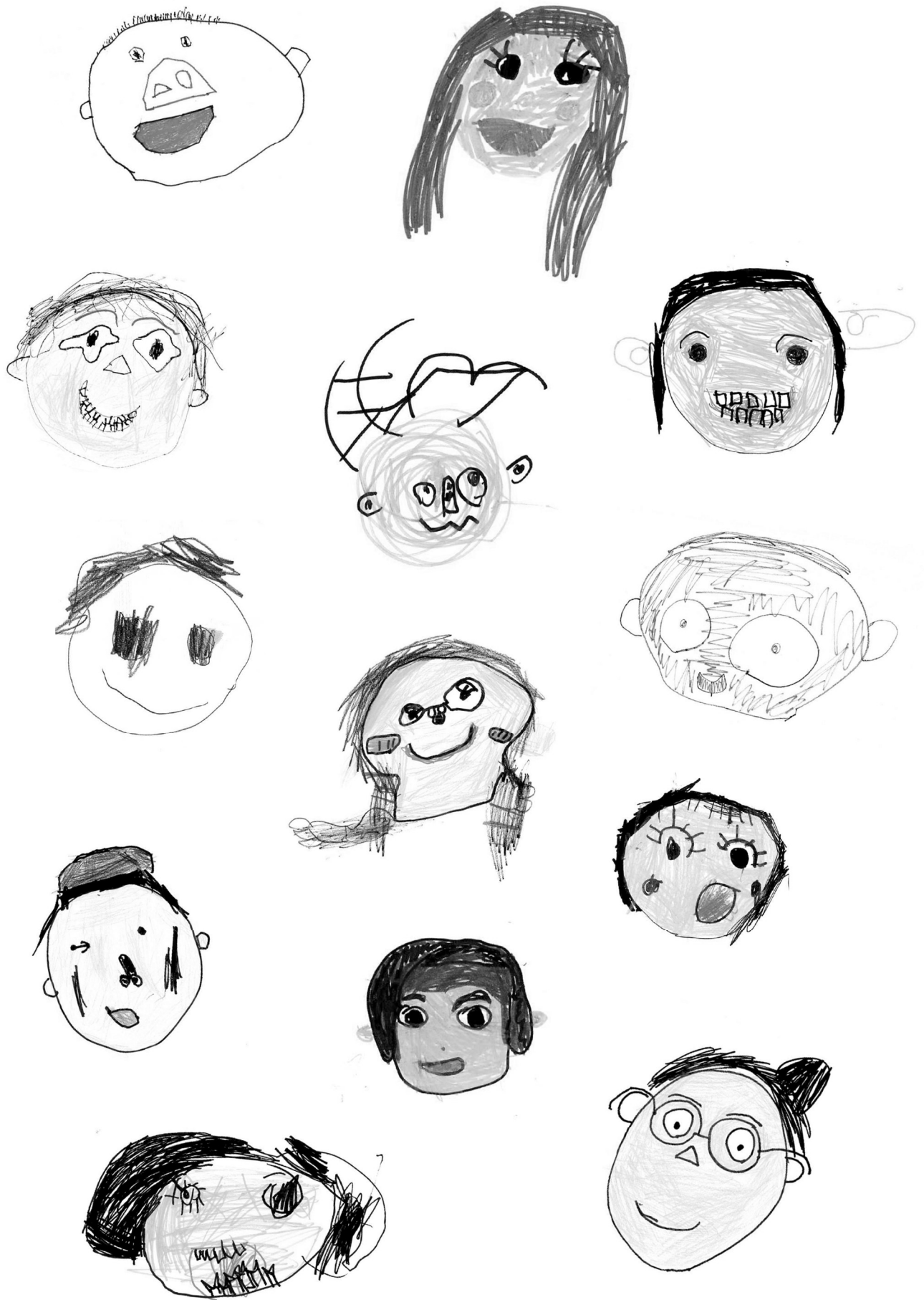
令和6年3月

川崎市長

福田 紀彦

# 目次

序章 麻生区地域福祉計画の位置付け	1
1 麻生区地域福祉計画とは	2
2 区計画の推進体制	5
第1章 麻生区地域福祉計画策定にあたって	7
1 麻生区の概況	8
2 統計データから見る麻生区の現況	9
3 地域ケア圏域について	19
4 麻生区の町名別人口推移	32
5 麻生区地域福祉マップ	33
6 麻生区の町名別地区組織	34
7 地域福祉実態調査の主な結果	35
8 第6期計画の振り返り	41
第2章 第7期麻生区地域福祉計画の取組	45
1 計画の体系	46
2 麻生区がめざす地域の姿	47
3 事業体系一覧	54
4 具体的な取組	56
資料編	83
1 第7期麻生区地域福祉計画策定の経過	84
2 あさお福祉計画及び地域包括ケアシステム推進会議開催運営等要綱	85
3 あさお福祉計画及び地域包括ケアシステム推進会議委員名簿	86
市地域福祉計画概要	87
1 川崎市地域包括ケアシステム推進ビジョンに基づく取組の推進	88
2 川崎市地域包括ケアシステム推進ビジョンの推進体制	91
3 第6期計画の取組状況と第7期計画に向けた課題	94
4 令和7（2025）年以降を見据えためざす姿	95
5 第7期計画期間における施策の方向性	98
6 第7期計画の実施状況の点検・見直し	102
第7期川崎市地域福祉計画の施策体系図	103



区内の保育所に通う園児によるイラスト

# 麻生区地域福祉計画 の位置付け

## 序章

# 1 麻生区地域福祉計画とは

## (1) 川崎市における地域福祉計画

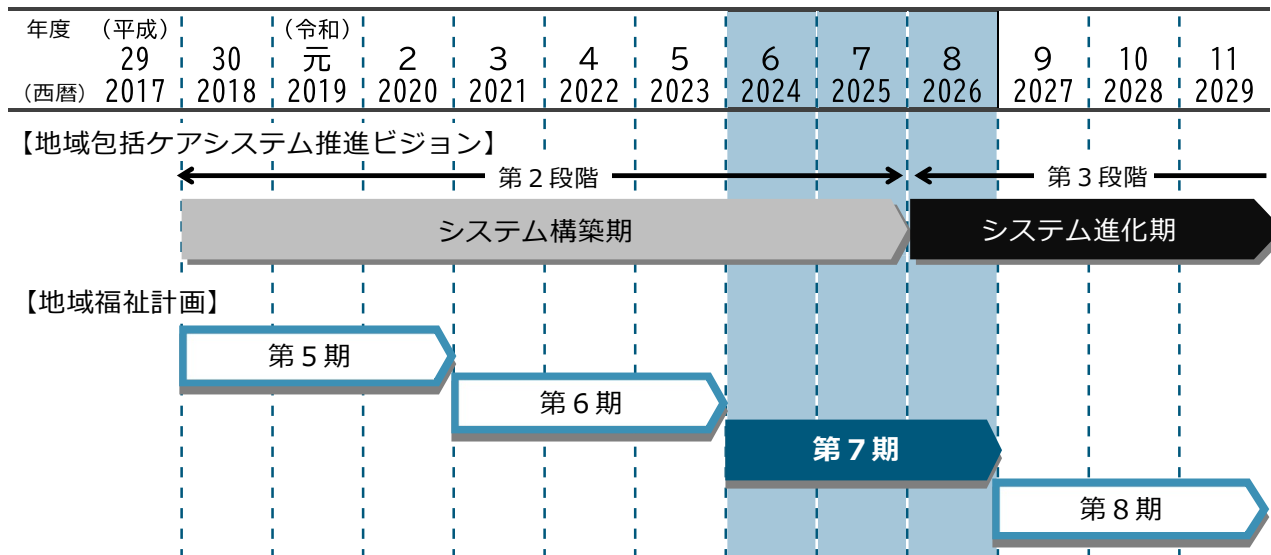
「地域福祉計画（以下、「計画」という。）」は、社会福祉法第107条に基づき、次の事項を一体的に定める計画です。

- ① 地域における高齢者の福祉、障害者の福祉、児童の福祉その他の福祉に関する共通的事項
- ② 地域における福祉サービスの適切な利用の推進に関する事項
- ③ 地域における社会福祉を目的とする事業の健全な発達に関する事項
- ④ 地域福祉に関する活動への住民の参加の促進に関する事項
- ⑤ 包括的な支援体制の整備に関する事業（同法第106条の3第1項各号）の実施に関する事項

本市では、平成16（2004）年度に第1期計画がスタートし、今回は第7期となります。第7期においても、市計画と区計画をそれぞれ策定しました。

## (2) 計画の期間

第7期計画の計画期間は、令和6（2024）年度から令和8（2026）年度までの3年間です。



### (3) 区計画策定の趣旨

麻生区では、出生率が低下するとともに、高齢化率が7区で最も高い状況にあるなど、少子高齢化が進んでいます。また、隣近所の関係の希薄化による孤立や分野別の対応では解決が難しい家族の問題、制度の狭間にある支援ニーズなど、生活上の課題は多様化・複合化しています。

すべての人が住み慣れた地域で、自分らしく生き生きと生活していくためには、区民一人ひとりの力だけではなく、身近な地域での助け合いや、保健福祉に関わる機関や団体と行政が連携・協働し、地域づくりに取り組むことが大切になります。

「麻生区地域福祉計画」では、市全体の課題解決に取り組む「川崎市地域福祉計画」のもと、麻生区の地域性に応じた具体的な施策を取りまとめています。身近な地域の中で支え合いの仕組みを作り、暮らしやすいまちづくりを目指すために、**自助**（自分自身のケア）、**互助**（みんなの支え合い）、**共助**（介護保険や医療保険などのサービス）、**公助**（行政による支援）がつながり、バランスよく機能するよう計画を策定し、取組を進めていきます。



### (4) 区計画策定の流れ

計画策定にあたり、第6期計画の振り返りを行うとともに、区民へのアンケート調査などにより、地域の現状や課題の把握を行いました。

また、区内の関係機関を代表する委員などから構成される「あさお福祉計画及び地域包括ケアシステム推進会議」で、様々な視点から麻生区の地域福祉の推進に向けた理念や基本目標、取組のあり方などについて意見聴取を行いました。同時に、行政職員による会議体において計画全体の方向性や具体的な取組などを確認・検討し、計画案を作成しました。

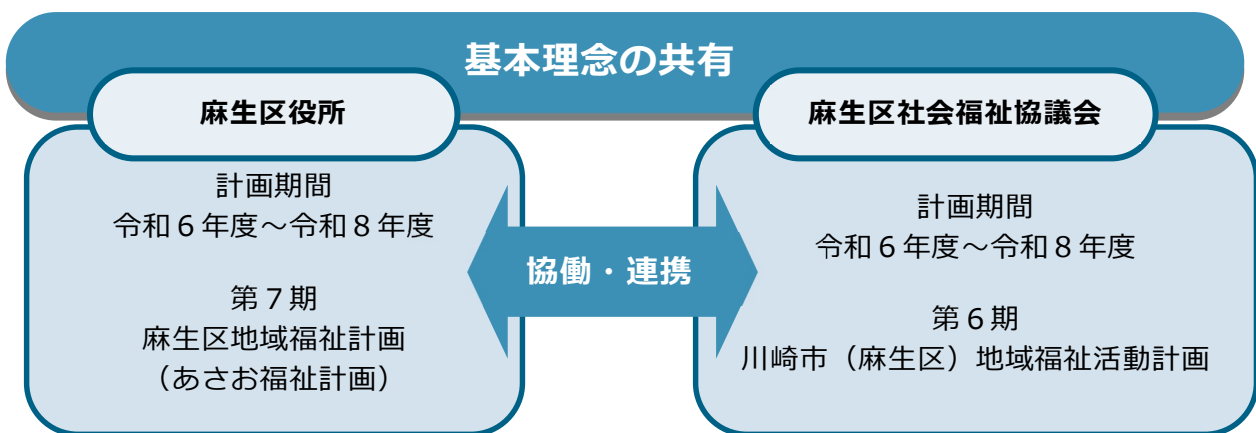
計画案については、パブリックコメント（意見公募）手続等を実施し、区民の意見を踏まえた上での検討を経て、本計画を策定しました。

## （５）麻生区社会福祉協議会との連携

社会福祉協議会は、地域福祉の推進を図ることを目的とした民間の社会活動を推進するための団体です。都道府県、市区町村ごとに設置されており、麻生区社会福祉協議会は、区民の一番身近なところで住民活動を支援しています。

社会福祉協議会では、住民組織、ボランティア、福祉関係機関（行政も含む）等が集まり「地域福祉活動計画」を策定し、地域福祉を進める活動・行動のあり方を示しています。

第7期麻生区地域福祉計画の策定にあたり、麻生区社会福祉協議会とは、引き続き区計画の基本理念（目標）を共有し、相互に補完しながら、地域の課題解決や情報共有に取り組み、支え合いのまちづくりを進めていきます。



## （６）区計画とコミュニティ施策との関係

川崎市では、市民一人ひとりが多様なつながりをつくり、自分らしく幸せに暮らせる地域社会である「希望のシナリオ」の実現をめざして、平成31（2019）年3月に「これからのコミュニティ施策の基本的考え方」を策定しました。

麻生区においては、「希望のシナリオ」の実現をめざす取組として、令和2（2020）年から「あさお希望のシナリオプロジェクト」を開始し、「みんながつながる みんなが輝く I LOVE ASAO」のキャッチフレーズを掲げ、プロジェクトメンバーによる検討を進めています。

麻生区では、「希望のシナリオ」の実現に向けたコミュニティ施策における取組と、麻生区地域福祉計画における各取組を、情報共有しながら足並みを揃え推進していきます。

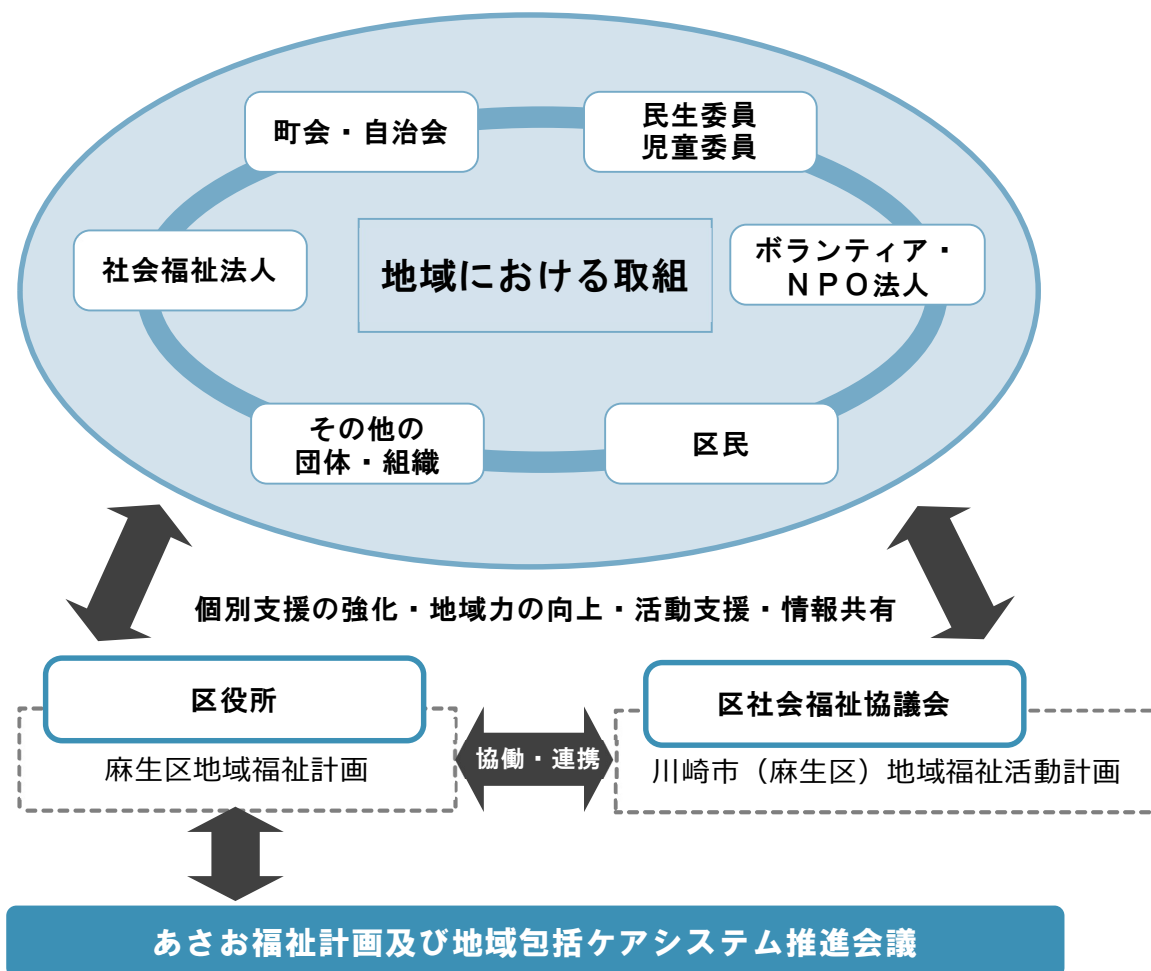


## 2 区計画の推進体制

### (1) 区計画の推進体制

本計画は、福祉、保健、医療、まちづくりなど、幅広い分野に関連していることから、庁内の関連部署及び地域の関係機関との連携のもと、総合的な取組を図っていくものです。

また、計画の進捗状況については、地域福祉推進の関係機関・団体等で構成される「あさお福祉計画及び地域包括ケアシステム推進会議」により共有し、点検・見直しをしながら、全体的な進行管理を行い、その後、「川崎市社会福祉審議会 地域福祉専門分科会」において、区の点検結果を踏まえ、川崎市地域福祉計画と一体的に、地域福祉施策の評価等を行っていきます。



## (2) 地域福祉の担い手と役割

区民一人ひとりをはじめ、町会・自治会、民生委員児童委員、社会福祉法人、ボランティア・NPO法人、社会福祉協議会、その他関係団体、行政など、あらゆる人々が地域福祉の担い手として、それぞれの役割を果たしながら支え合いの地域づくりを進めることが大切です。ここでは、代表的な担い手の役割について説明します。

### ① 区民一人ひとりの役割

地域社会はそこに住む区民が主体的に作り上げていくものだという意識を持ち、できることから積極的に地域活動に参加することが求められています。さらにその活動を地域全体に広げることで、地域のコミュニティが活性化され、支え合いの地域づくりの基盤となります。

### ② 町会・自治会の役割

地域福祉を推進する上での、小規模で身近な圏域として位置付けられます。区民の生活課題の解決に向けた日常的な活動を行い、また、地域の支え合い意識の向上に努める団体として、重要な役割が期待されています。

### ③ 民生委員児童委員の役割

民生委員児童委員は、様々な生活上の問題を抱えた人たちが適切な支援や相談先につながるための、地域福祉の重要なパイプ役を担っており、町会・自治会との連携した活動も期待されます。

### ④ 社会福祉法人の役割

高齢者・障害者・子ども等の福祉に関する幅広い専門知識と物的・人的資源を持ち合わせている社会福祉法人は、その社会資源を活用し、地域と連携して公的な援助以外のサービス（インフォーマルサービス）に積極的に取り組むことが望まれます。

### ⑤ ボランティア・NPO法人の役割

自由な発想で区民のニーズにきめ細かく、迅速に対応することができる特徴を活かし、関係機関・団体と連携を図りながら地域福祉の推進に貢献していくことが望まれています。

### ⑥ 区社会福祉協議会、地区社会福祉協議会の役割

区社会福祉協議会は、地域福祉推進の中心を担う団体として、民間組織としての強みを活かし、行政と協働・連携しながら事業を展開していくことが求められています。

また、独立した任意団体である地区社会福祉協議会も、地域の多様なニーズに応じた活動を推進することが求められています。

# 麻生区地域福祉計画 策定にあたって

## 第1章

# 1

## 麻生区の概況

麻生区は昭和57（1982）年7月1日、川崎市の行政区再編によって、多摩区から分区し誕生しました。麻生の名の起こりは、8世紀頃から朝廷への貢ぎ物だった麻布の原料である麻を広く産した地であったことによると伝えられています。1214年（鎌倉時代）に王禅寺で発見されたといわれる「禅寺丸柿」は、「柿生」（かきお）の地名の由来にもなっており、区の木に選ばれています。

昭和2（1927）年に小田急線の柿生駅ができた後、昭和40（1965）年以降に開発が進められ、昭和49（1974）年に区を中心となる新百合ヶ丘駅が誕生しました。百合丘や新百合ヶ丘の地名の由来となった「ヤマユリ」は、後に区の花となりました。

現在、新百合ヶ丘駅周辺には、麻生区役所総合庁舎、麻生市民館、消防署があるほか、駅南側には大型ショッピングセンター、映画館などからなる商業地域が形成されています。また、「昭和音楽大学」、「日本映画大学」、「川崎市アートセンター」など芸術関連施設も多く、芸術・文化の薫りあふれるまちとなっています。

一方、区内にはエレクトロニクスや先端技術の研究開発施設が集まる「マイコンシティ」などの産業資源、「麻生スポーツセンター」をはじめ、片平川沿いの「麻生区スポーツ・健康ロード」、「川崎フロンターレ」の練習場など地域に密着したスポーツ資源、「王禅寺ふるさと公園」、大型農産物直売所「セレサモス」、「黒川」・「岡上」・「早野」の農業振興地域など豊かな自然・農業資源が多く存在します。これらの地域資源を活かしながら、地域と連携して住みやすいまちづくりをめざしています。

また、令和5（2023）年5月12日に厚生労働省が公表した「令和2年市区町村別生命表」によると、麻生区は平均寿命が男女ともに日本一になりました。



麻生区の花  
ヤマユリ



麻生区の木  
禅寺丸柿

平均寿命日本一については、  
p.80・81のコラムもご覧ください



禅寺丸柿キャラクター  
かきまるくん

# 2

## 統計データから見る麻生区の現況

### 1

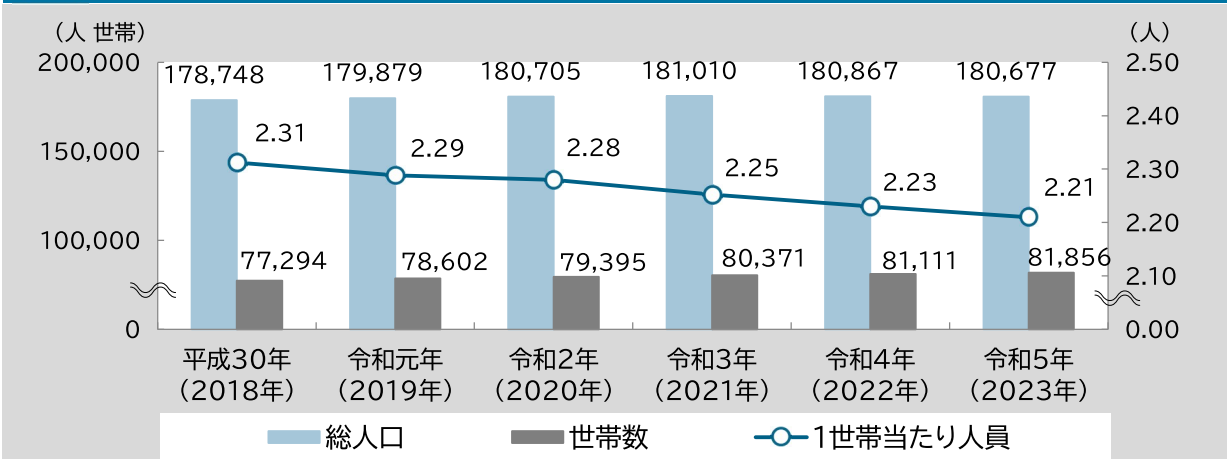
### 人口・世帯



麻生区の人口は、令和2（2020）年に180,000人を超え、令和5（2023）年の人口は180,677人となっています。

世帯数は令和3（2021）年に80,000世帯を超え、令和5（2023）年の1世帯当たり人員は2.21人となっています。【図表1】

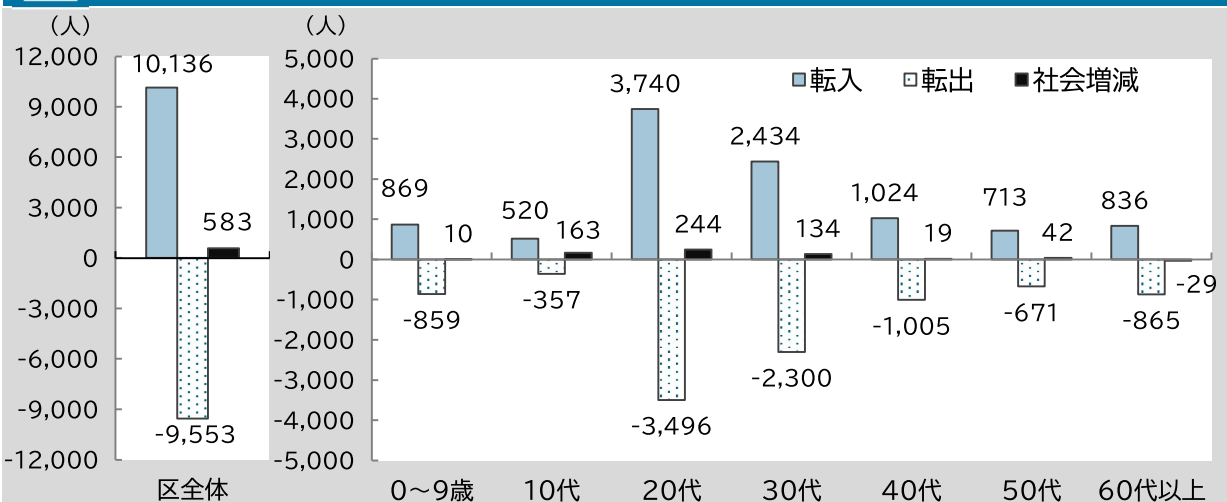
図表1 総人口と世帯数の推移：麻生区



資料：川崎市の統計情報「川崎市の世帯数・人口」（各年10月1日現在）

令和4（2022）年の転出入の状況は、区全体では転入が転出を上回り、583人の社会増となっています。年齢別では20代が転入・転出ともに最も多く、244人の社会増となっています。【図表2】

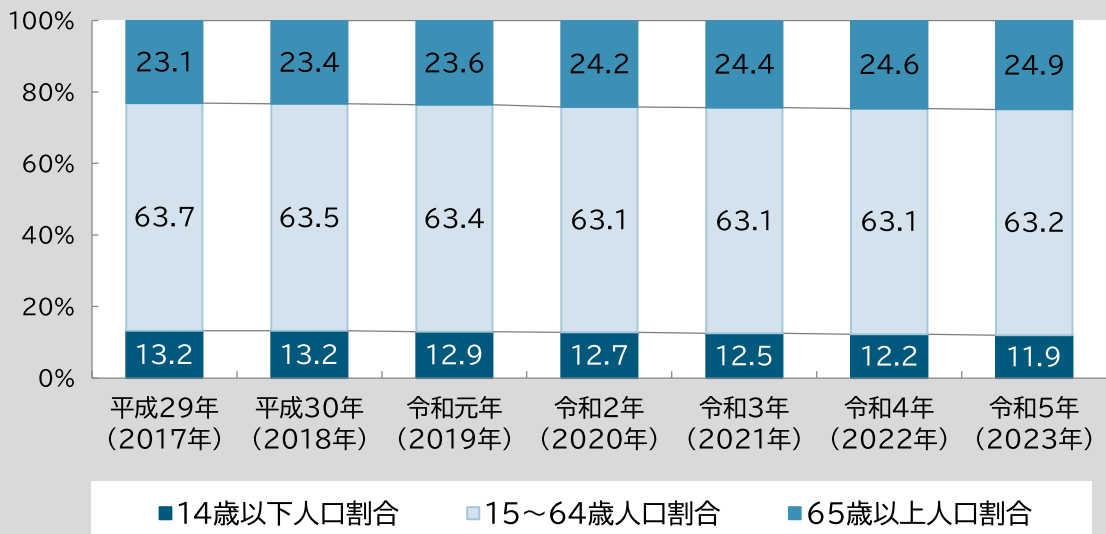
図表2 転出入の状況：麻生区



資料：川崎市の統計情報「川崎市の人口動態（令和4（2022）年）」  
 ※社会増減…住民の転入から転出を差し引いた人数

年齢3区分別人口割合の推移を見ると、14歳以下人口割合の低下と65歳以上人口割合の上昇が続き、少子高齢化が進んでいることがわかります。【図表3】

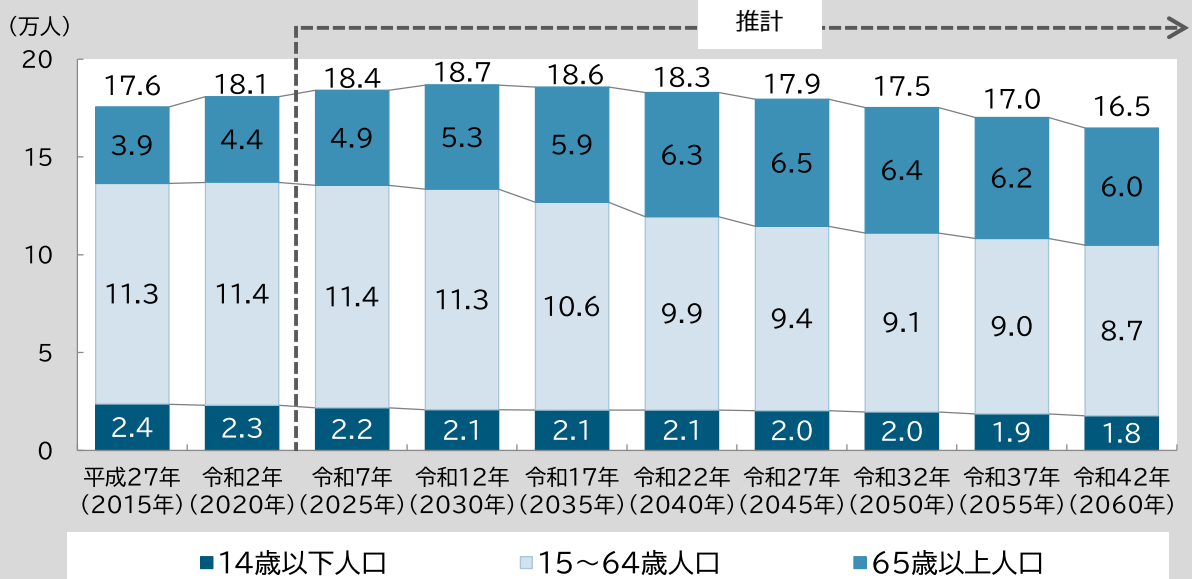
図表3 年齢3区分別人口割合の推移：麻生区



資料：川崎市の統計情報「川崎市年齢別人口」（各年10月1日現在）  
 ※構成割合は小数第2位を四捨五入しているため、合計が100.0%にならない場合がある。

年齢3区分別将来人口推計を見ると、総人口は令和12（2030）年頃をピークに減少に転じますが、65歳以上人口は令和27（2045）年まで増加が続く見込みとなっています。【図表4】

図表4 年齢3区分別将来人口推計：麻生区

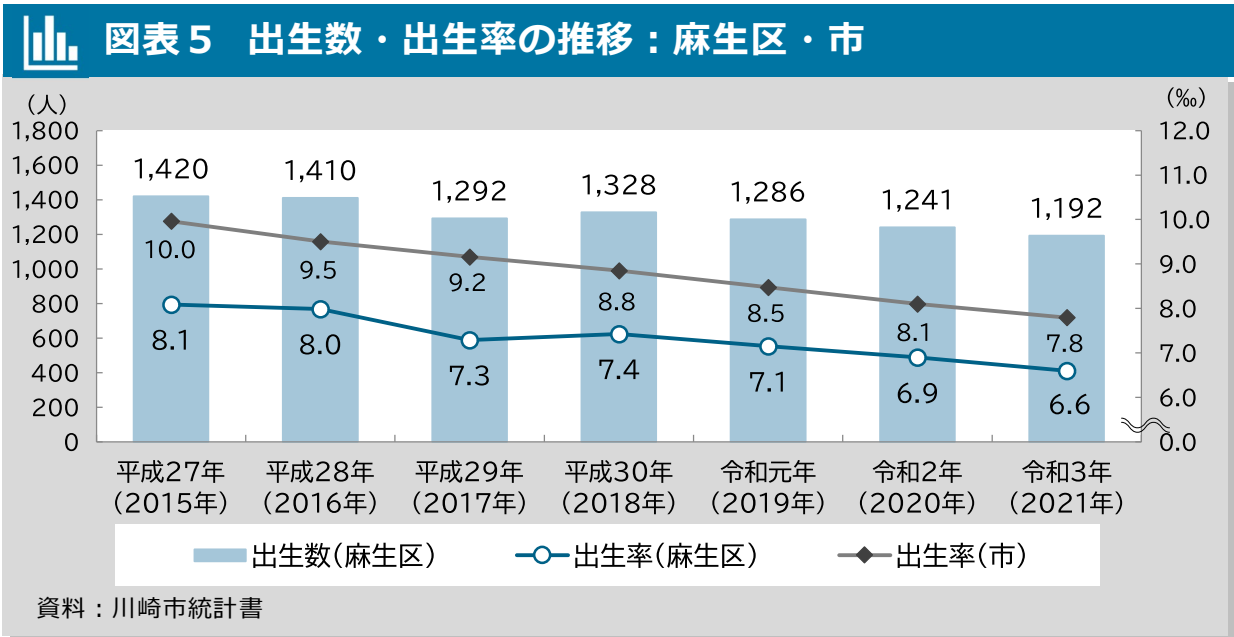


資料：川崎市総務企画局「川崎市総合計画第3期実施計画の策定に向けた将来人口推計（更新版）」

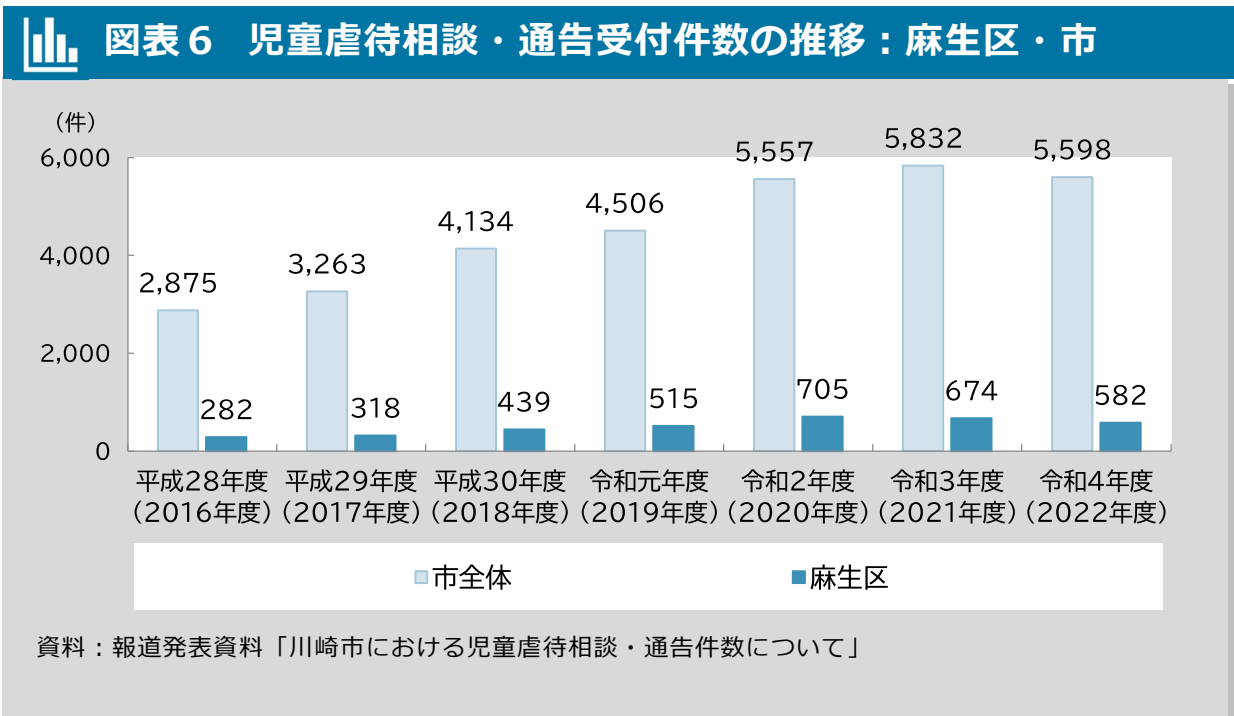
## 2 子ども・子育て



出生数は減少傾向にあり、令和3（2021）年の出生率は人口1,000人に対して6.6人と、市全体よりも低い状況が続いています。【図表5】



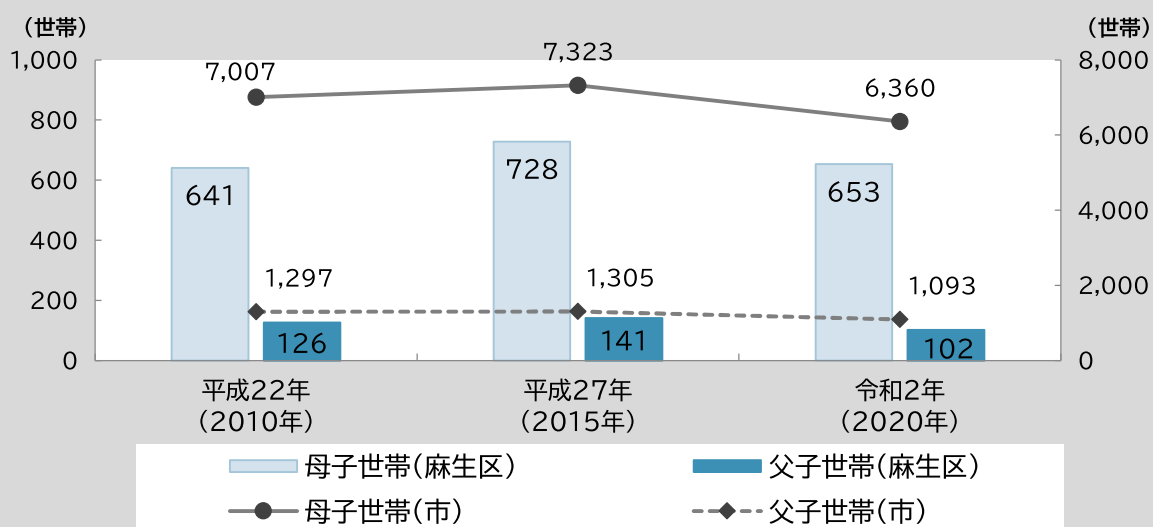
麻生区の児童虐待相談・通告件数（児童相談所・区役所の合計）は、令和2（2020）年度まで増加傾向にありましたが、その後減少し、令和4（2022）年度は582件となっています。【図表6】



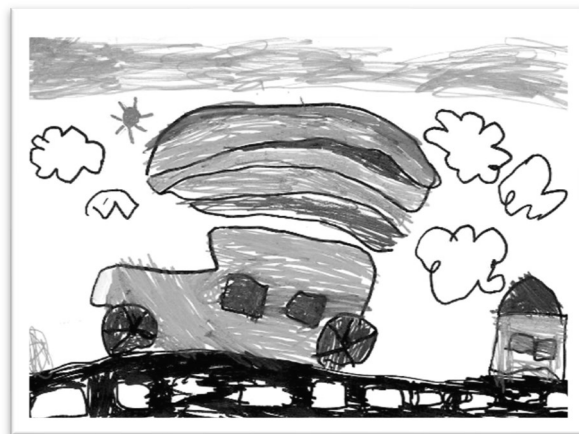
第1章 麻生区地域福祉計画策定にあたって

麻生区の母子世帯及び父子世帯の世帯数の推移を見ると、令和2（2020）年に母子世帯は653世帯、父子世帯は102世帯となっています。【図表7】

図表7 母子世帯数・父子世帯数：麻生区・市



資料：国勢調査  
 ※他の世帯員（20歳以上の子どもを除く。）がいる母子・父子世帯を含む。



区内の保育所に通う園児によるイラスト



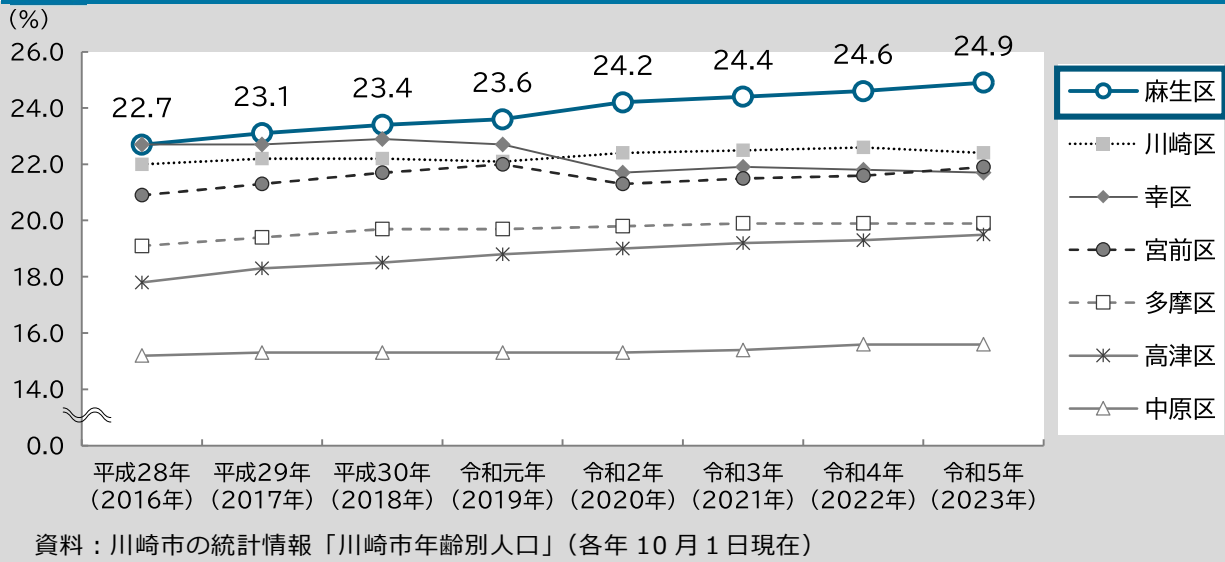
# 3

## 高齢者



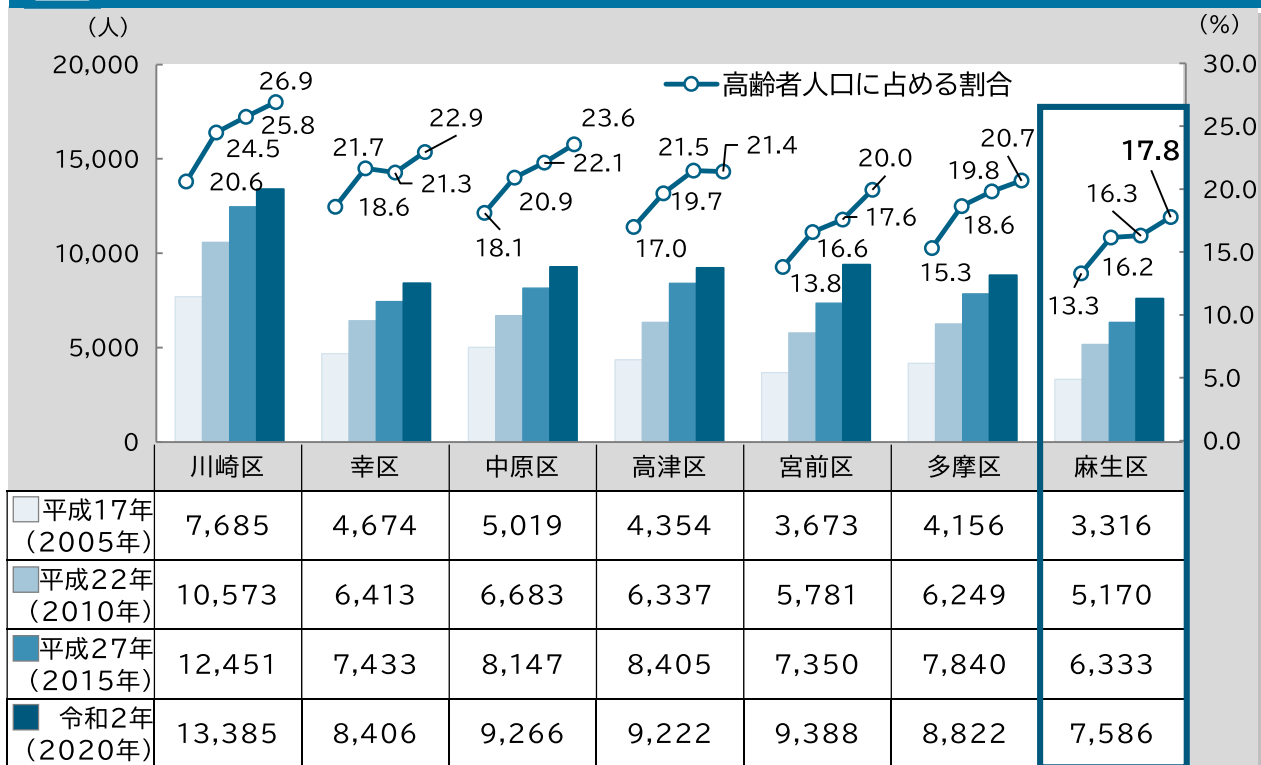
65歳以上人口が総人口に占める割合を表す高齢化率は7区で最も高く、令和5（2023）年には24.9%となっています。【図表8】

図表8 高齢化率の推移：区別



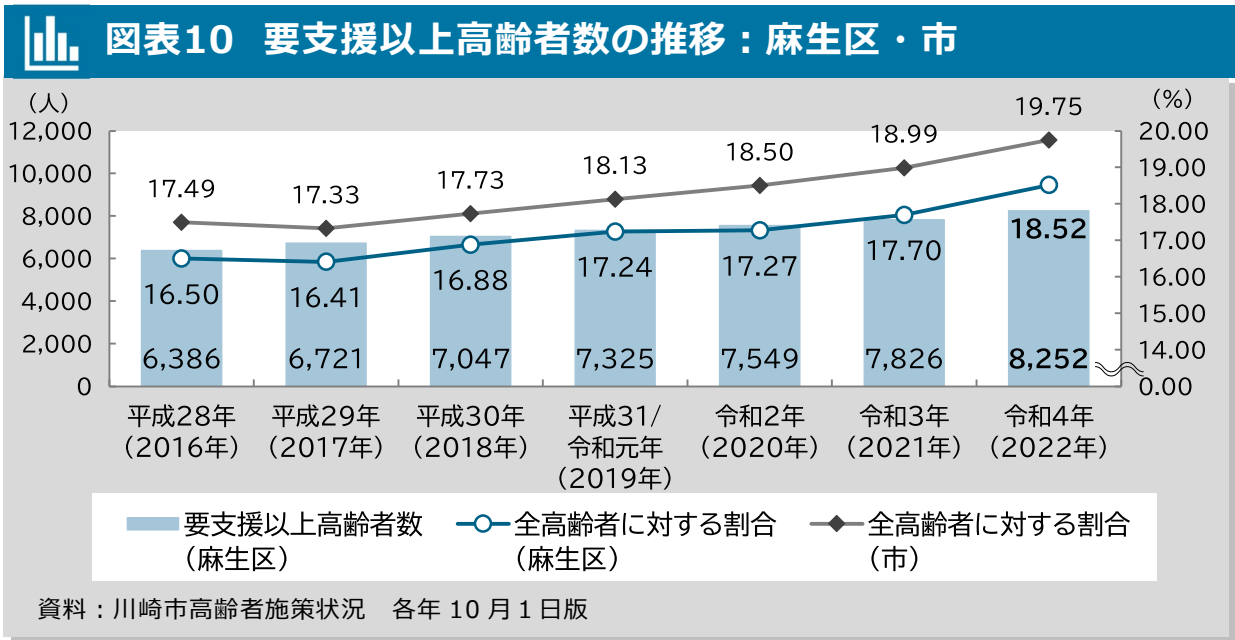
麻生区のひとり暮らし高齢者数の推移を見ると、令和2（2020）年に7,586人と7区で最も少ないものの増加傾向にあり、15年で2倍以上となっています。【図表9】

図表9 ひとり暮らし高齢者数の推移：区別



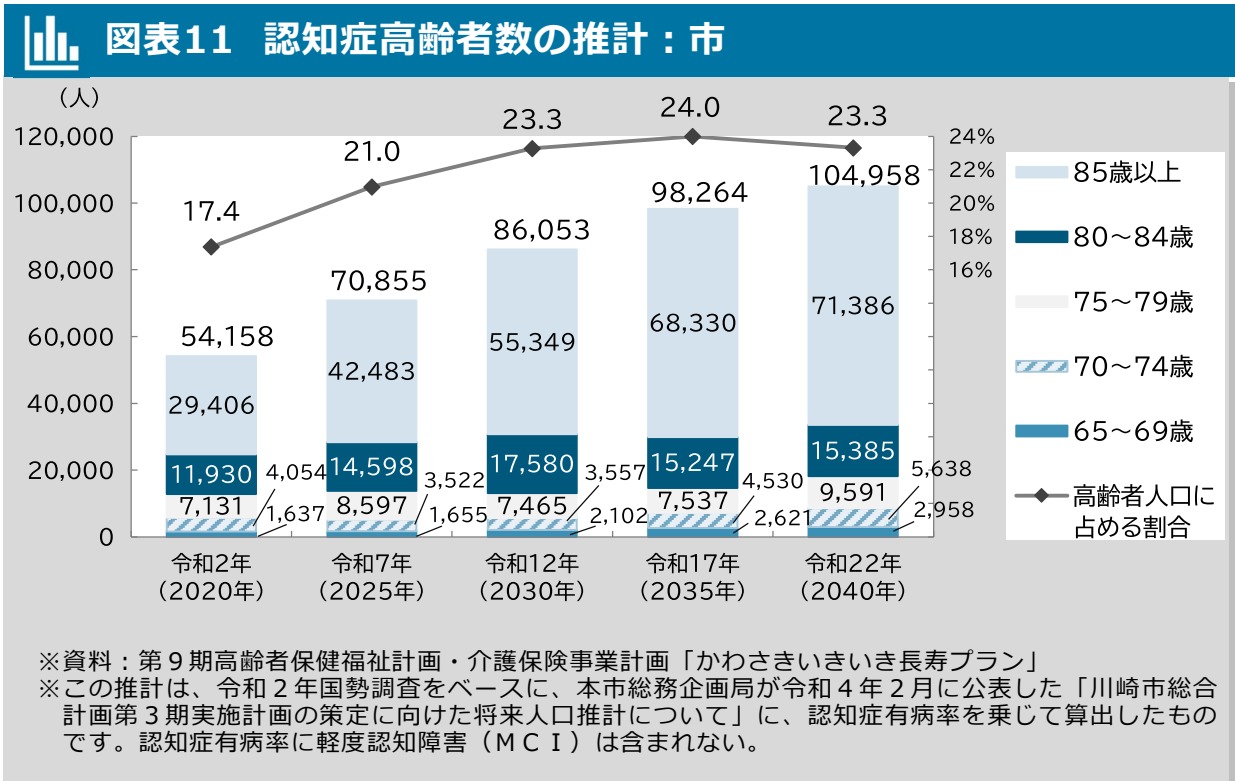
資料：国勢調査

麻生区の要支援以上高齢者数は増加傾向にありますが、令和4（2022）年の全高齢者に対する割合は18.52%で、市の割合を下回って推移しています。【図表10】



参考

市における認知症高齢者数の推計を見ると、本市の認知症高齢者数は今後も増加を続け、令和7（2025）年には高齢者の約5人に1人が認知症になる見込みとなっています。【図表11】



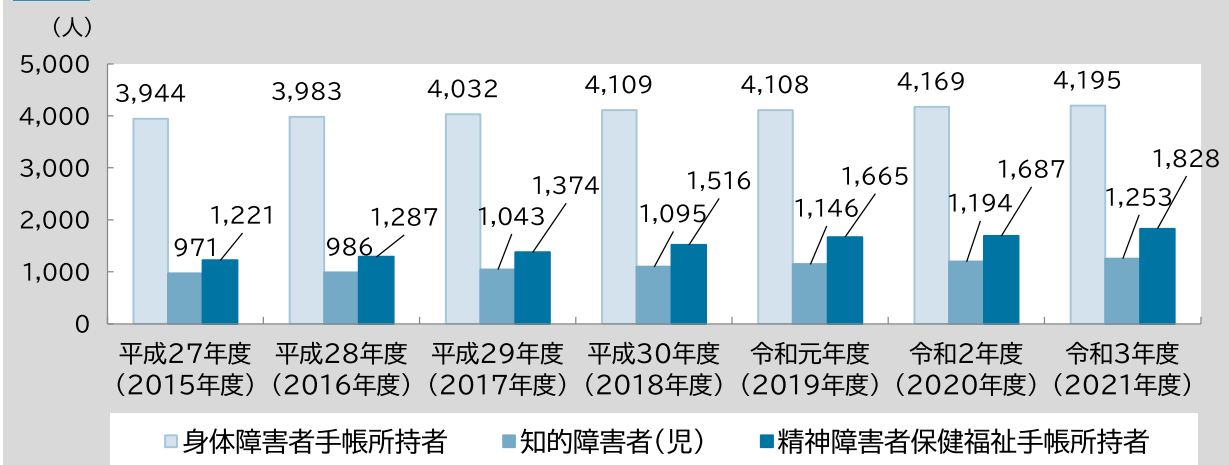
# 4

## 障害者



障害者数は、令和3（2021）年度に身体障害者手帳所持者数が4,195人、知的障害者（児）数が1,253人、精神障害者保健福祉手帳所持者数が1,828人となっています。知的障害者（児）数、精神障害者保健福祉手帳所持者数は増加傾向にあります。【図表12】

**図表12 障害者手帳所持者数等の推移：麻生区**



資料：川崎市統計書「障害者の概況」、川崎市健康福祉年報（各年度末現在）  
 ※知的障害者（児）数は判定のみ受けて手帳を所持していない者も含む。

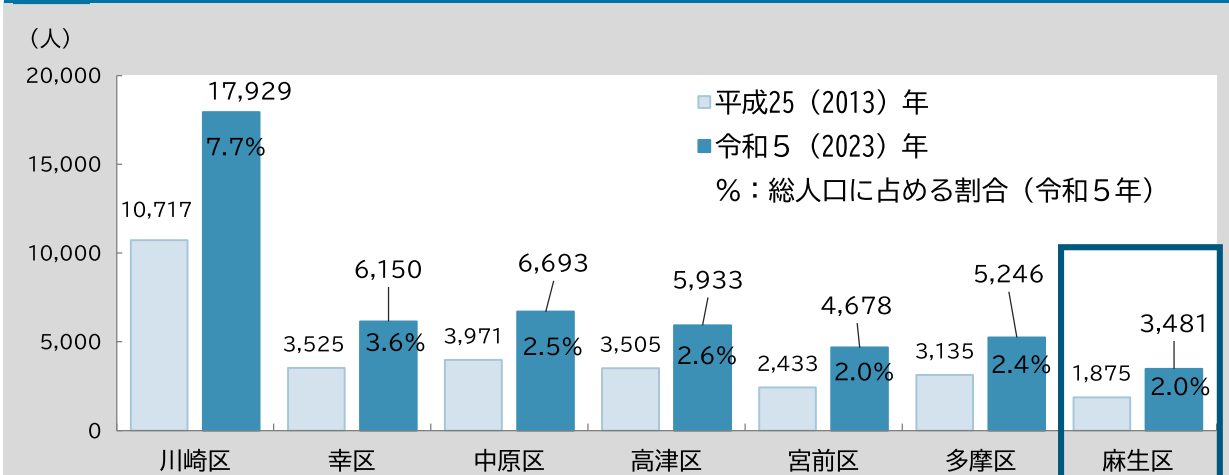
# 5

## 外国人住民



麻生区の外国人住民人口は、令和5（2023）年には3,481人となっており、平成25（2013）年から1,606人増加しています。総人口に占める割合は2.0%と、7区の中では低い水準にあります。【図表13】

**図表13 外国人住民人口の推移：区別**

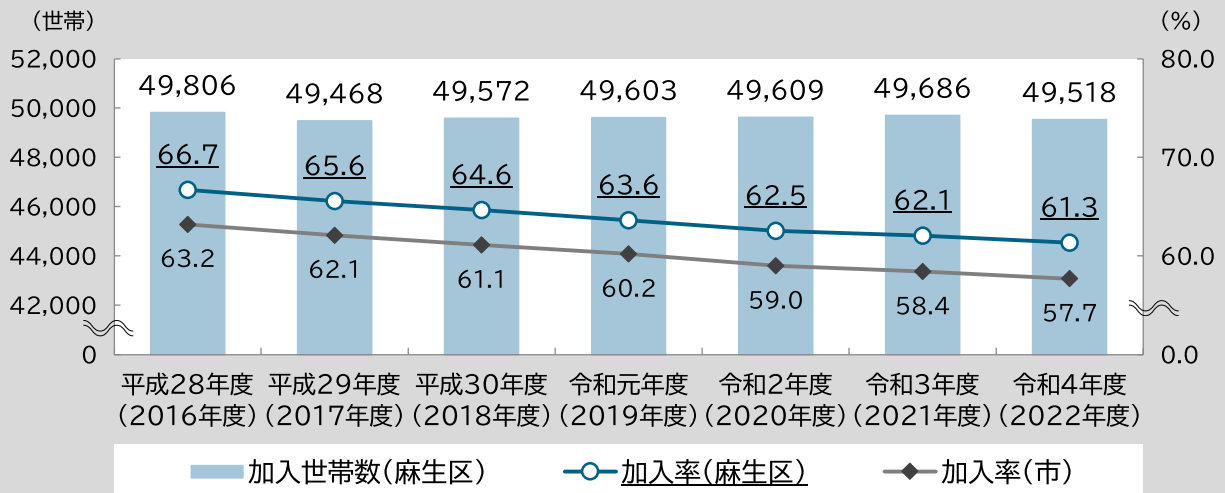


資料：川崎市統計情報「管区別年齢別外国人住民人口」（各年9月末日現在）  
 総人口は「町丁別年齢別人口」（令和5年9月末日現在）



令和5（2023）年4月時点で麻生区には、7区で最も多い125の町会・自治会等の組織がありますが、町会・自治会等への加入率は低下傾向にあります。【図表14】

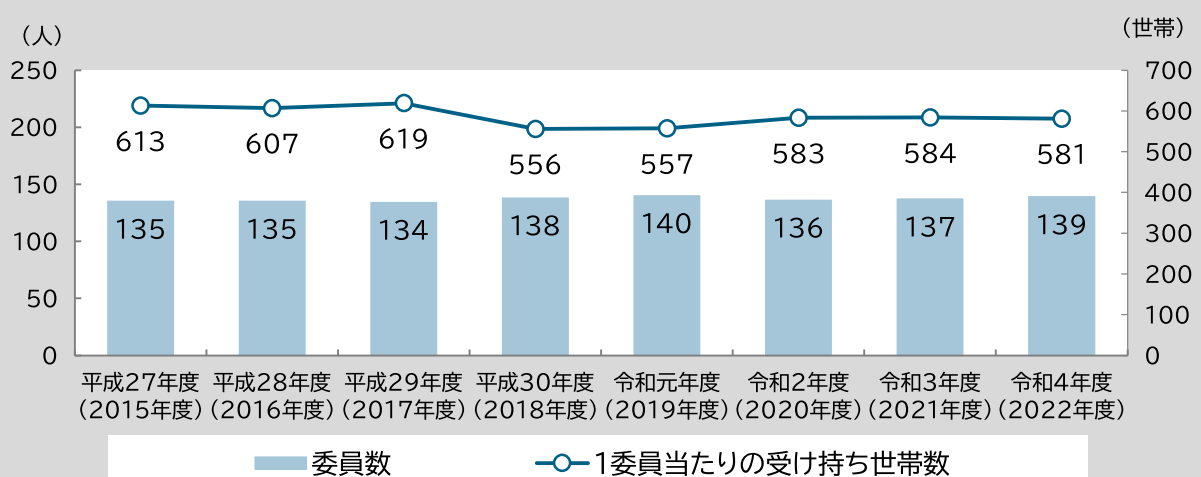
図表14 町会・自治会加入率及び加入世帯数の推移：麻生区・市



資料：川崎市統計書「住民組織加入状況」（各年度4月1日現在）

令和4（2022）年度の民生委員児童委員は139人で、1委員当たりの受け持ち世帯数は581世帯となっています。【図表15】

図表15 民生委員児童委員数と受け持ち世帯数の推移：麻生区



資料：川崎市統計書「民生委員・児童委員数等の状況」（各年度4月1日現在）

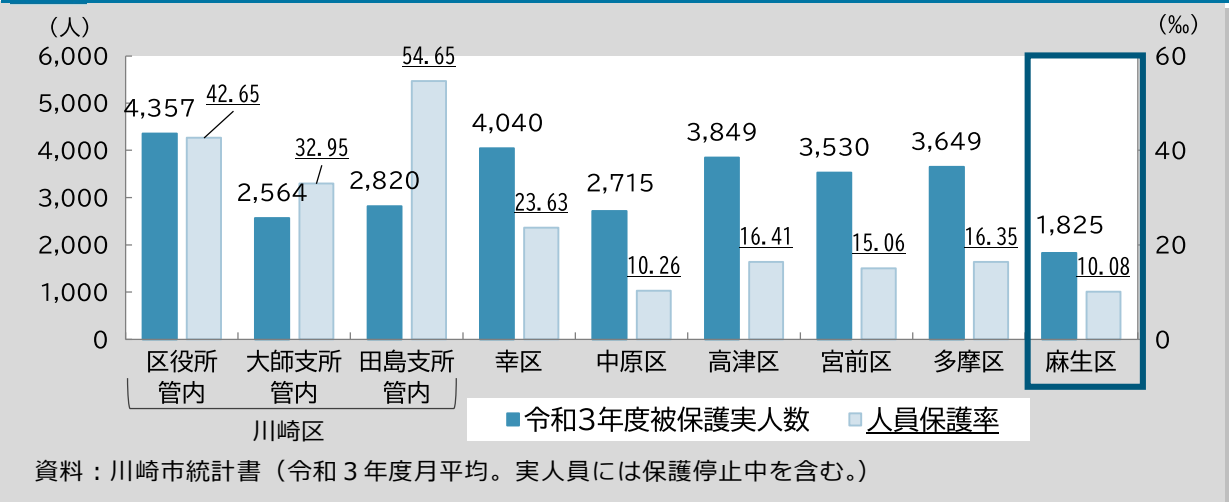
# 7

## 生活保護



麻生区において令和3（2021）年度に生活保護★を受けた人の数は1,825人で、人口1,000人に対する人員保護率は10.08人と7区で最も低くなっています。【図表16】

図表16 生活保護の状況：区別



★生活保護：生活保護とは、家計を支えていた人が亡くなったり、病気やケガ、高齢や障害など何らかの事情により収入が途絶えたりして生活が困難となった場合、その困窮の程度に応じて必要な保護を行って、最低限度の生活の保障とともに、その自立の手助けをすることを目的とした制度です。健康で文化的な最低限度の生活を行う権利は日本国憲法に定められています。

第1章 麻生区地域福祉計画策定にあたって

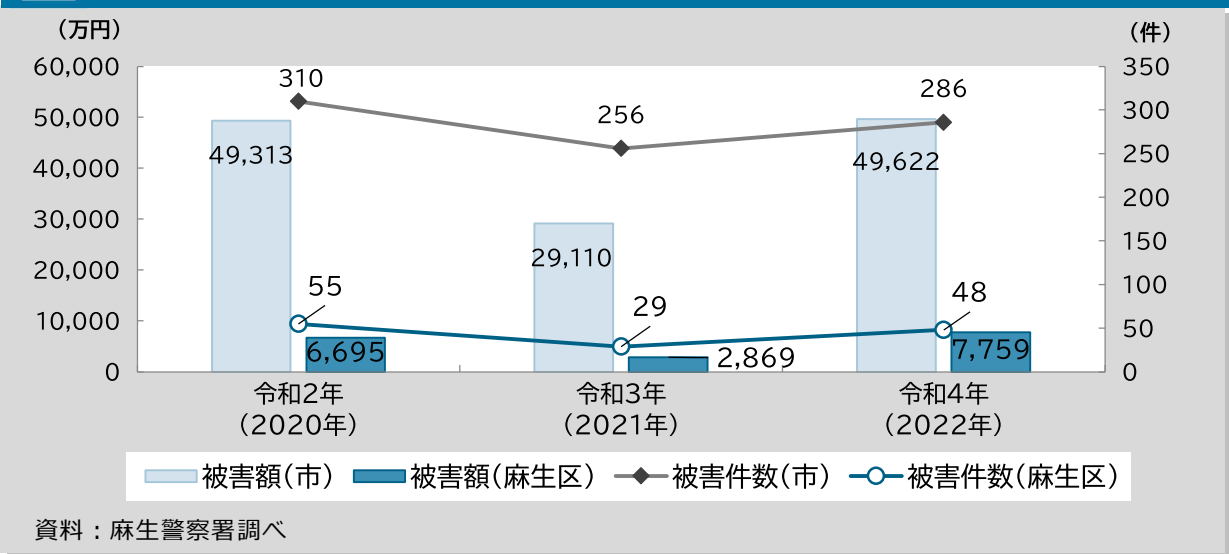
# 8

## 安全・安心



令和4（2022）年に麻生区内で発生した特殊詐欺★の被害件数は48件、被害額は約7,759万円と前年より増加しています。【図表17】

図表17 特殊詐欺被害状況：麻生区・市



★特殊詐欺：犯人が電話やハガキ（封書）等で親族や公共機関の職員等を名乗って被害者を信じ込ませ、現金やキャッシュカードをだまし取ったり、医療費の還付金が受け取れるなどと言ってATMを操作させ、犯人の口座に送金させる犯罪のことです。

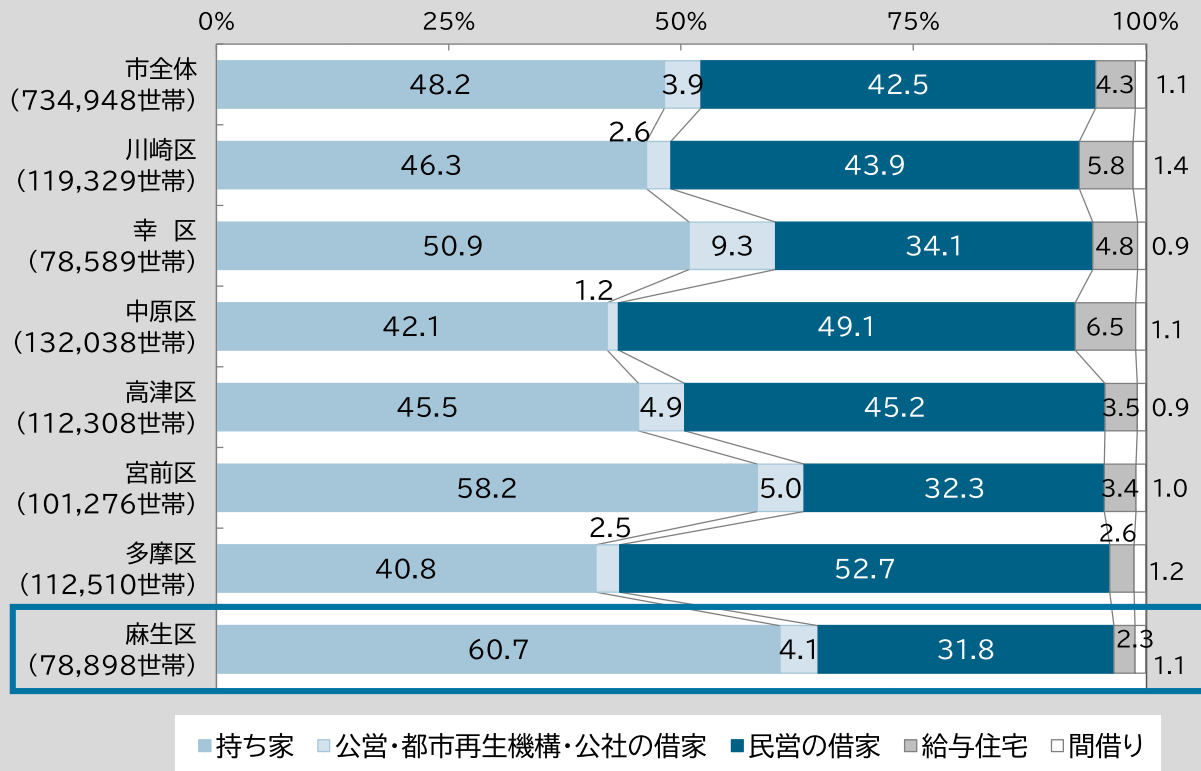
# 9

## 住まい



麻生区の持ち家の割合は、令和2（2020）年に60.7%と7区で最も高く、民営の借家の割合は31.8%と7区で最も低くなっています。【図表18】

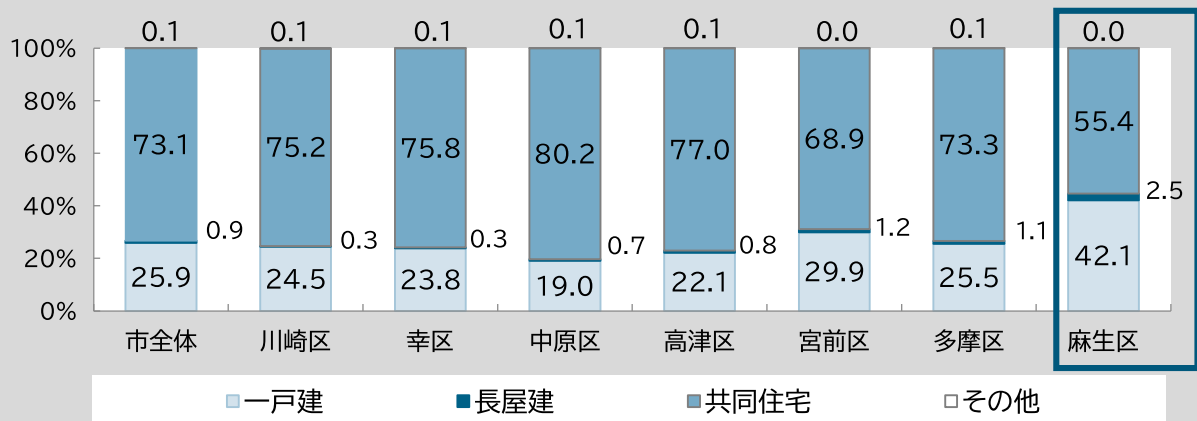
図表18 住まいの形態：区別



資料：令和2（2020）年国勢調査

麻生区の一戸建住居の割合は、令和2（2020）年に42.1%と7区で最も高くなっています。【図表19】

図表19 住居の種類：区別



資料：令和2（2020）年国勢調査

# 3

## 地域ケア圏域について

麻生区には、町会・自治会、小学校区（16地区）、中学校区（8地区）、地区民生委員児童委員協議会の区域（6地区）、地区社会福祉協議会の区域（2地区）、地域包括支援センターの区域（7地区）等、様々な区域が存在します。

麻生区では、民生委員児童委員協議会の区域を参考に6つの「地域ケア圏域」を設定し、地区カルテ\*等を活用して、より多くの方々とともに地域の状況を共有していくこととしています。

圏域の考え方については、  
p.100 をご覧ください



### 麻生東第二地区

金程 1～4丁目、千代ヶ丘 1～9丁目  
細山、細山 1～8丁目、向原 1～3丁目

### 麻生東第一地区

高石 1～6丁目  
多摩美 1・2丁目

### 麻生東第三地区

東百合丘 1～4丁目  
百合丘 1～3丁目

### 柿生第一地区

王禅寺  
虹ヶ丘 1～3丁目  
白山 1～5丁目  
王禅寺西 1～8丁目  
王禅寺東 1～6丁目

### 柿生第二地区

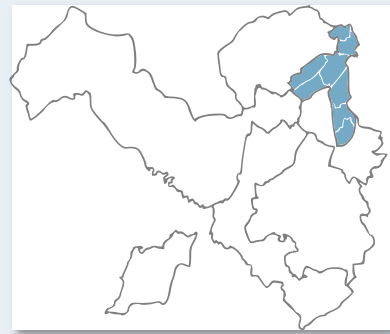
岡上、岡上 1～6丁目  
上麻生、上麻生 1～7丁目  
下麻生、下麻生 1～3丁目、早野

### 柿生第三地区

片平、片平 1～8丁目  
栗木、栗木 1～3丁目  
栗木台 1～5丁目  
栗平 1・2丁目  
黒川、五力田  
五力田 1～3丁目  
白鳥 1～4丁目  
古沢、万福寺  
万福寺 1～6丁目  
南黒川  
はるひ野 1～5丁目

\* 地区カルテ：人口などの統計データや地域資源、地域活動等を地域ケア圏域ごとにまとめたものです。お住いの地域について情報を共有し、課題解決に向けた取組を進めていくためのツールとして活用できます。各地区の情報については、区ホームページ上の「麻生区地区カルテ」をご覧ください。

# ① 麻生東第一地区



## 対象の町丁

高石1～6丁目、多摩美1・2丁目

## 地区の概況

麻生東第一地区は、麻生区の北東部に位置し、多摩区と隣接しています。多摩美特別緑地保全地区をはじめ、自然が多く残る地域です。

コンパクトな地域ながら、4つのお寺（妙延寺、潮音寺、法雲寺、匡真寺）と神社（高石神社）があります。それぞれに由緒があり、地域の大切な資源になっています。また、山坂が多く、自然とたくさん歩く生活となるために、高齢者がとても元気だといわれており、地域活動も盛んに行われています。

民生委員児童委員協議会の皆さんに聞きました。



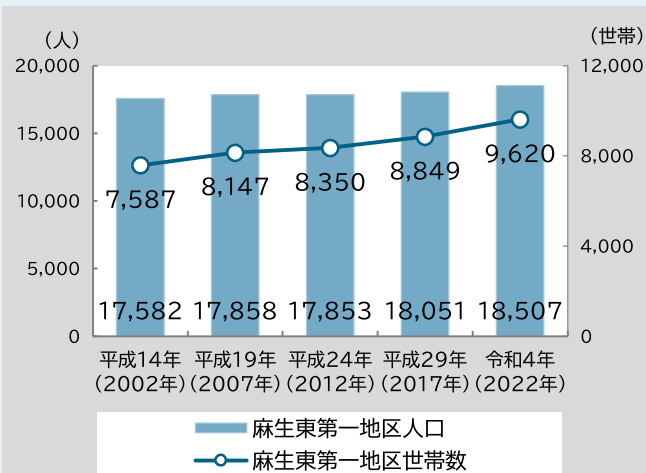
## 人口・世帯数は？

	人口	世帯数	年少人口 (0～14歳)	生産年齢人口 (15～64歳)	高齢者人口 (65歳以上)	前期高齢者人口 (65～74歳)	後期高齢者人口 (75歳以上)
麻生東第一地区	18,507	9,620	1,967	12,143	4,397	2,015	2,382
麻生区	178,555	83,651	22,469	113,714	42,372	19,209	23,163
川崎市	1,523,861	778,337	187,040	1,029,317	307,504	145,902	161,602

資料：住民基本台帳 令和4（2022）年9月末

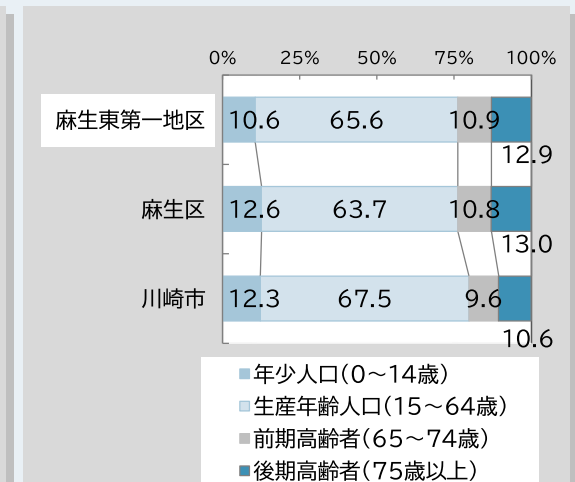
※但し、世帯数については単位は世帯

## 人口・世帯数の変化は？



資料：住民基本台帳 各年9月末

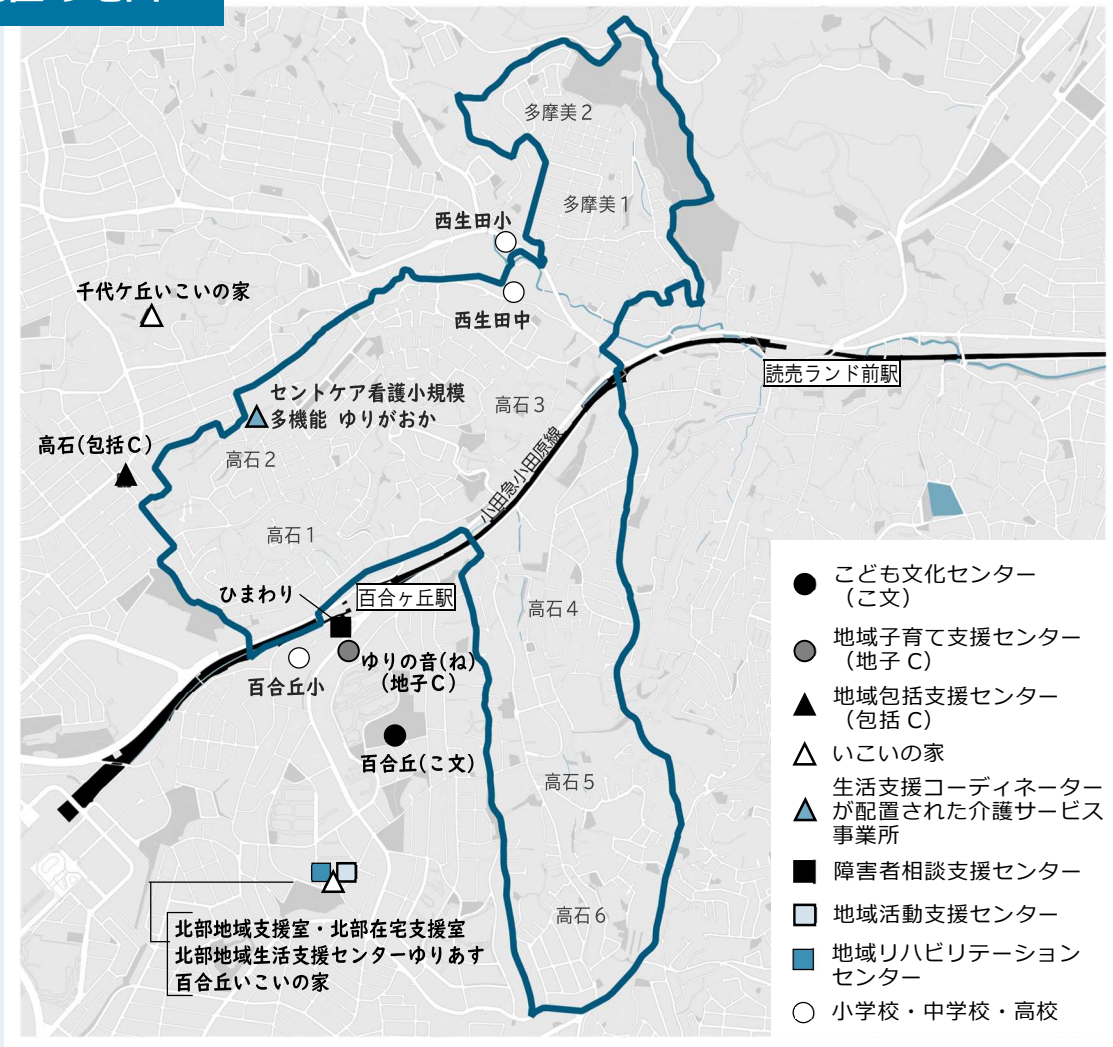
## 子ども・高齢者の割合は？



資料：住民基本台帳 令和4（2022）年9月末



## 地区の地図



## 地区の地域活動

### 子育てサロンぴよぴよ



麻生東第一地区民生委員児童委員協議会が運営する子育てサロン。月1回、高石公民館で開催しています。

### なでしこの会



地域の住民が月1回妙延寺に集まり、認知症予防運動プログラム「コグニサイズ」\*や健康体操を実施しています。

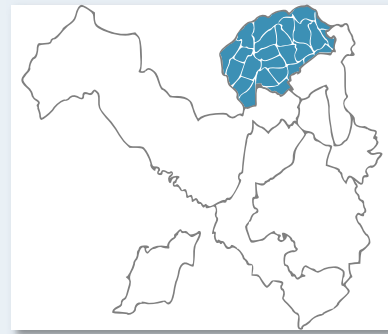
### 多摩美コロバナーゼ



地域の住民が月1回多摩美町会会館に集まり、高石地域包括支援センターの協力のもと、コグニサイズ\*等を行っています。

\*コグニサイズ：国立長寿医療研究センターが開発した運動と認知課題（計算、しりとりなど）を組み合わせた認知症予防を目的とした取組の総称を表した造語です。英語の cognition（認知）と exercise（運動）を組み合わせると cognicise（コグニサイズ）と言います。

## ② 麻生東第二地区



### 対象の町丁

金程 1～4丁目、千代ヶ丘 1～9丁目  
 細山、細山 1～8丁目、向原 1～3丁目

### 地区の概況

麻生東第二地区は麻生区の北部に位置し、稲城市と隣接しています。高台から斜面上に広がる、落ち着いた住宅街です。

丹沢や三浦半島までを一望できる高台の地域があるなど自然豊かな一方、幼稚園から小・中学校、高校まで教育施設が揃っています。早朝や深夜もウォーキングしている人が見られ、パトロール活動やごみ拾いをボランティアで行うなど、住民の取組で地域が保たれています。また、川崎授産学園やソレイユ川崎の施設があり、地域と良い関係を築いています。

民生委員児童委員協議会の皆さんに聞きました。



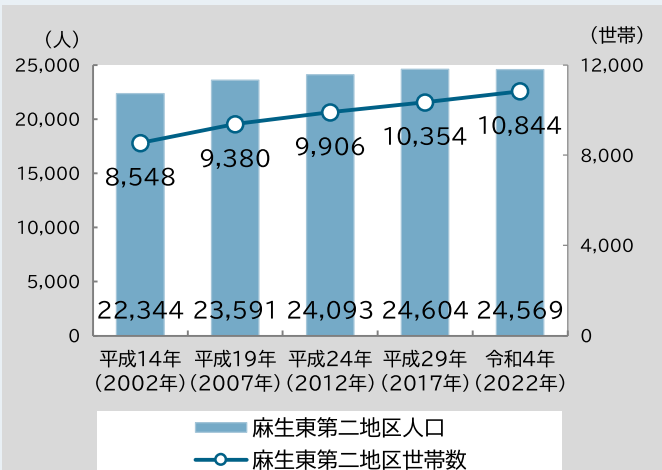
### 人口・世帯数は？

	人口	世帯数	年少人口 (0～14歳)	生産年齢人口 (15～64歳)	高齢者人口 (65歳以上)	前期高齢者人口 (65～74歳)	後期高齢者人口 (75歳以上)
麻生東第二地区	24,569	10,844	3,228	15,705	5,636	2,605	3,031
麻生区	178,555	83,651	22,469	113,714	42,372	19,209	23,163
川崎市	1,523,861	778,337	187,040	1,029,317	307,504	145,902	161,602

資料：住民基本台帳 令和4（2022）年9月末

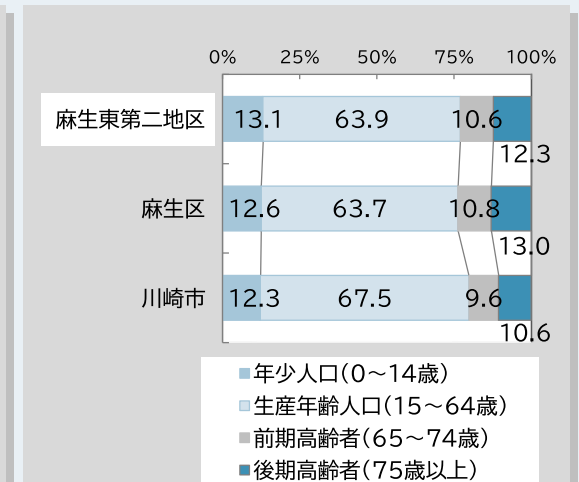
※但し、世帯数については単位は世帯

### 人口・世帯数の変化は？



資料：住民基本台帳 各年9月末

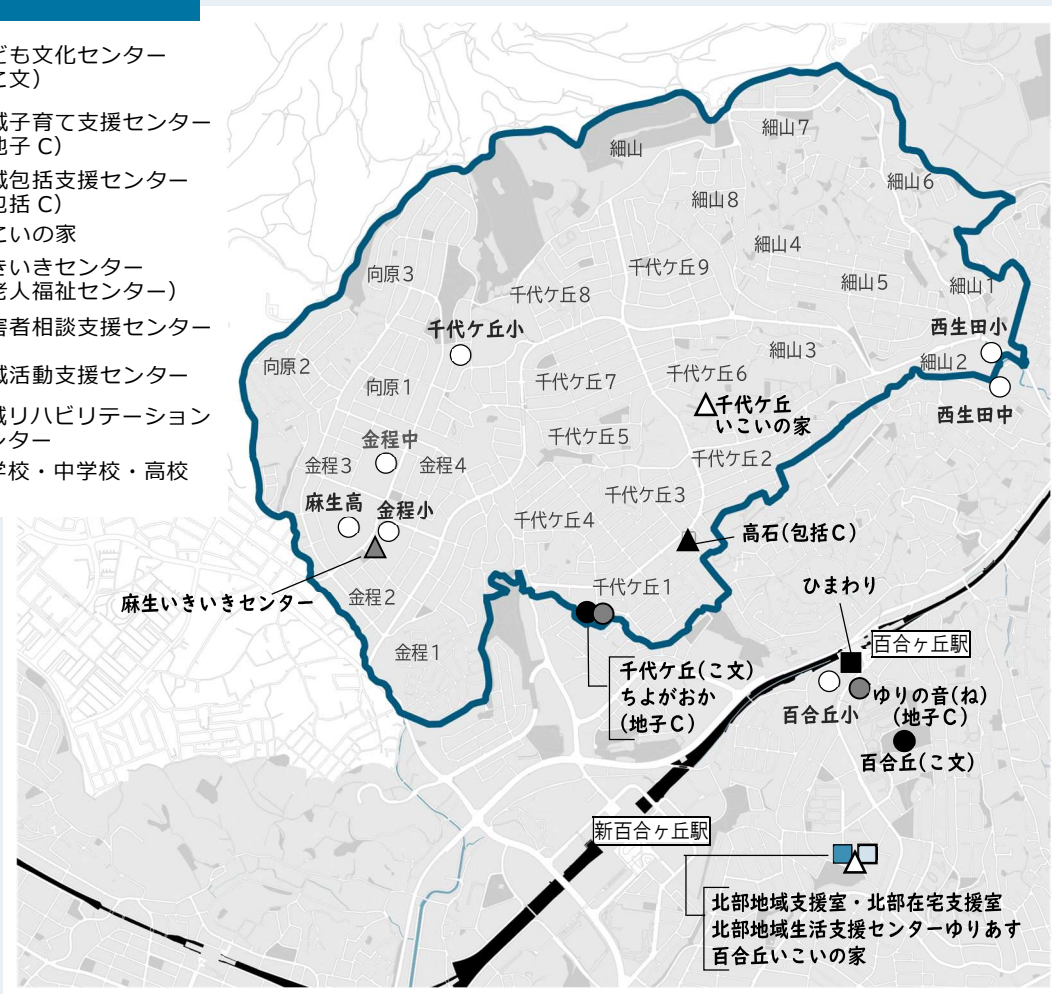
### 子ども・高齢者の割合は？



資料：住民基本台帳 令和4（2022）年9月末

## 地区の地図

- こども文化センター (こ文)
- 地域子育て支援センター (地子C)
- ▲ 地域包括支援センター (包括C)
- △ いこいの家
- ▲ いきいきセンター (老人福祉センター)
- 障害者相談支援センター
- 地域活動支援センター
- 地域リハビリテーションセンター
- 小学校・中学校・高校



## 地区の地域活動

子育てサロンいち・に・さんぼ



細山

麻生東第二地区民生委員児童委員協議会が運営する子育てサロン。月に1回、細山会館で開催しています。

ロバ君倶楽部



千代ヶ丘

地域の住民が千代ヶ丘いこいの家に月1回集まり、認知症サポーター養成講座の受講者に配布するためのロバ君マスクを作成しています。

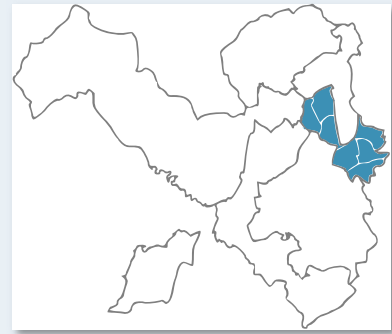
コミカフェ富士見



金程

金程富士見町会の活動として、町会会館で落語会やビアガーデンなどを行い、多世代で交流しています。

# 3 麻生東第三地区



## 対象の町丁

東百合丘1～4丁目、百合丘1～3丁目

## 地区の概況

麻生東第三地区は、麻生区の東部に位置し多摩区と隣接しています。急な坂が多いもののバス便が多く、静かな住宅街です。圏域内に田園調布学園大学や百合丘地域包括支援センター、百合丘いこいの家などがあり、大切な地域資源となっています。また、百合丘第2公園など、環境の整った公園が多いことも魅力の一つで、ラジオ体操が行われたり、イベントの開催や子ども達が集う場になったりと、公園は地域の憩いの場になっています。

民生委員児童委員協議会の皆さんに聞きました。



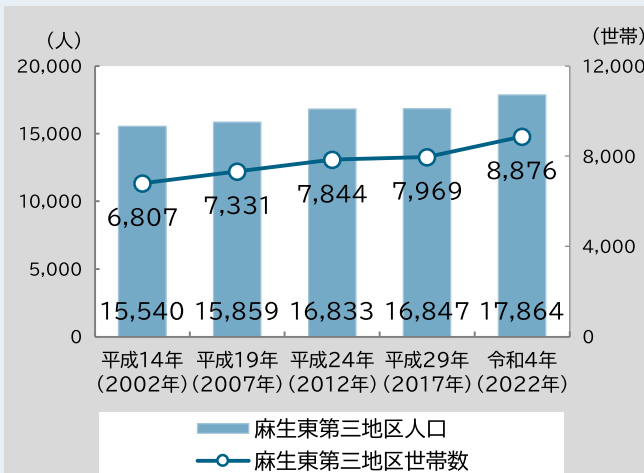
### 人口・世帯数は？

	人口	世帯数	年少人口 (0～14歳)	生産年齢人口 (15～64歳)	高齢者人口 (65歳以上)	前期高齢者人口 (65～74歳)	後期高齢者人口 (75歳以上)
麻生東第三地区	17,864	8,876	2,393	11,170	4,301	1,808	2,493
麻生区	178,555	83,651	22,469	113,714	42,372	19,209	23,163
川崎市	1,523,861	778,337	187,040	1,029,317	307,504	145,902	161,602

資料：住民基本台帳 令和4（2022）年9月末

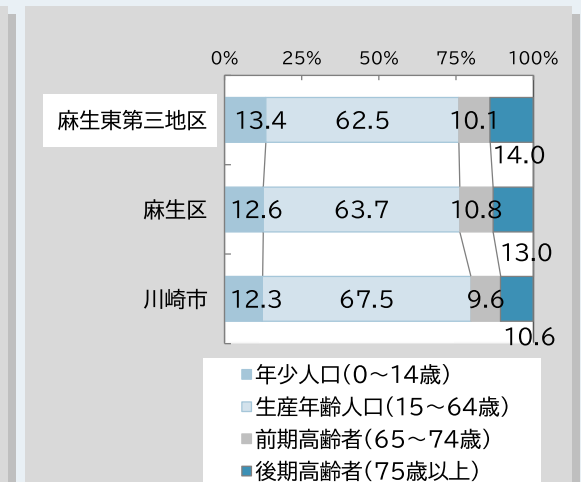
※但し、世帯数については単位は世帯

### 人口・世帯数の変化は？



資料：住民基本台帳 各年9月末

### 子ども・高齢者の割合は？



資料：住民基本台帳 令和4（2022）年9月末